



本の島だより

馬宮西小学校図書館
令和8年4月23日
第1号 児童数

1年生のみなさん、御入学おめでとうございます。2年生から6年生のみなさん、進級おめでとうございます。学校図書館では新しい図書・掲示委員さんが集まり、元気に活動を始めました。今年も楽しい図書館イベントを考えて、みなさんが学校図書館に来てくれるのを待っています。1年間どうぞよろしくお祈いします♪



ぼくは馬宮西小学校図書館キャラクターの「読じょう」です。ぼくのたんじょう日は、7月4日。今年で8さいになるよ。よろしくね！
「本の島だより」は、おうちの人といっしょによんでね。

本の貸出がはじまりました！



クラスごとに図書館オリエンテーションを行いました。図書館のきまり、約束を守って、今年もたくさん本を借りて読んでくださいね。

- 《貸出時間》 月曜日～木曜日の 業間休み・昼休み・クラスの図書の時間
- 《貸出冊数》 ひとり 2冊
- 《貸出期間》 1週間

本は図書用の手さげ袋に入れて持ち運びましょう



本の予約ができます

読みたい本が貸出中のときは、本の予約ができます。黄色の用紙に記入してください。予約は、一人2冊まで、1週間取り置きできます。

※1週間を過ぎると、予約は取り消して本棚に戻しますので、注意してください。

本のリクエストができます

こんな本を図書館で読んでみたい、というリクエストはピンクの用紙に記入してください。

4月23日は「子ども読書の日」、

4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です



子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）から5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにととても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。



馬宮西小学校では「こどもの読書週間」に以下の取組を行います。

2026

みんなでえらぶ！としゃかんの本



みんなが図書館に入れてほしいと思う本を「候補本」の中から1冊選んで投票しよう！一番人気だった本が図書館に入ります。投票は4階図書館まで！

投票期間：4月23日（木）～5月12日（火）

結果発表：5月12日（火）



詳しくは うらへ→

みんなが読んでみたいと思う本を①から④の「候補本」の中から1冊選んで、4階図書館の投票箱に投票してください。
「候補本」は図書館オリエンテーションでも紹介しましたが、期間中は3階と4階の間の掲示板に掲示をします。
「投票用紙」はクラスごとに配付します。見事1位に選ばれた本は、6月から図書館で借りられるようになります♪



1・2・3年生候補本

4・5・6年生候補本

① 『ねこホテル』
ふくべあきひろ/作 かわしまななえ/絵 (PHP研究所)

学校からのかえりみち、女の子は「ねこホテル」を見つけました。ここはよにもめずらしいねこにとまれるホテルで、「コウバコ」「ヘソテン」「シャー」などのへやがあります。女の子はしつじにあんないされ、いろいろなへやに入って……。

② 『カラーモンスターきもちはなにいろ？』
アナ・レナス/作 おおともたけし/訳 (永岡書店)

今日のカラーモンスターは、きもちがぐちゃぐちゃ。うれしい・かなしい・いかり・ふあん・おだやかなの5つのきもちを、いれものにわけて入れてみると……。じぶんのきもちのせいりや、ひょうげんができるようになる本。

③ 『じごく小学校』
有田奈央/作 安楽雅志/絵 (ポプラ社)

いつもイタズラばかりしている板図良くんは「じごく小学校」に行くことになった。そこでは、イタズラしてもせんせいにおこられずに、はんたいにほめられてしまい……。えさがしやクイズ、めいろなどもあり。

④ 『おばけずし』
かりたすみこ/作 柴田ケイコ/絵 (金の星社)

おばけでもいいから来てくれないかなあと、ひまなおすしやさんがつぶやくと本当におばけがやってきた！おばけにおすしをにぎってあげると、おばけはおよろこび。おれいにおばけのさかなをつってきて……。

① 『夢をかなえるソウ』 子ども版おかしな神様がネーチャとひみつの教え
水野敬也/作 安楽雅志/絵 (文響社)

「どんな願いごともかなえてくれる」という不思議なソウがいます。でもかなえてもらうためには、ひみつの「お題」をやらなければならなくて……。『じごく小学校』の安楽雅志の描きおろしイラストを全ページに掲載。

② 『謎解きホームルーム』
日本児童文芸家協会/編 (新星出版社)

金曜日、帰りのホームルーム。いつも決まった時間に配られるのは、珠玉のミステリー。人気作家による10分で読めるミステリー全9話を収録。ミステリーを楽しむうちに自然と読解力・洞察力がアップします。

③ 『二番目の悪者』
林木林/作 庄野ナホコ/絵 (小さい書房)

これが全て作り話だと言い切れるだろうか……。金色のたてがみを持つ金のライオンは王様になりたかった。だが、街外れに住む心のやさしい銀のライオンが次の王様候補だといううわさを聞き、銀のライオンの悪いうわさを広めて歩き……。

④ 『ケチャップマン』
鈴木のりたけ/作 (ブロンズ新社)

ケチャップマンはケチャップ容器。押せば中身が出るしくみ。ケチャップ容器でこの容姿。個性が生かせる場所探し……。トマト味の日常はあまくて、ちょっぴりほろ苦い。シュールでせつない絵本。